

CASBEE[®]-建築(新築)2021年SDGs対応版

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追加版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)新保健施設等複合施設新築工事	階数	地上4F
建設地	東京都墨田区横川五丁目7番4号	構造	S造
用途地域	第一種住居地域、準工業地域、防火地域	平均居住人員	244 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年6月 予定	評価の実施日	2024年3月11日
敷地面積	5,336 m ²	作成者	田中 貴久
建築面積	2,716 m ²	確認日	2024年4月12日
延床面積	9,640 m ²	確認者	山本 亨

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE =2.3

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

2-3 建築環境SDGsチェックリスト評価結果

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 4.1

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア=3.7

3 設計上の配慮事項		
総合 利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。 ライフサイクルCO ₂ 排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。		その他 特になし。
Q1 室内環境 開口部遮音性能:T-2以上。 加湿機能・除湿機能を有し、かつ45%~55%の範囲の湿度を実現することが可能な設備容量が確保されている。 1.5%≦[昼光率]<2.0%。そして、ハイサイドライトを	Q2 サービス性能 事務室の天井高2.7m。 リフレッシュスペースが執務スペースの1%以上。 建築基準法に定められた25%増の耐震性を有する。 節水型器具を採用している。	Q3 室外環境(敷地内) 植栽により、良好な景観を形成している。
LR1 エネルギー BPI=0.81 BEI=0.46	LR2 資源・マテリアル 節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。 雨水利用をしている。そして、雑排水等を利用している。 LGSを使用している。 ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率61%。 燃焼機器を使用していない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される